

[特集2] 平成30年度第1回

岡山県医療勤務環境改善支援センター講習会

開催日時/平成30年11月15日(木) 15:00~16:40 場所/岡山県医師会館 401会議室

地域枠卒業医師派遣の意義

社会医療法人 緑社会 金田病院 理事長 **金田道弘** 先生

私たち田舎の中小病院は、深刻な医師不足に長年にわたり苦しみ続け、地域医療崩壊の危機に瀕していた。2009年の国の医師不足対策を



らしく、スタッフからの評価は極めて高かった。

地域枠卒業医師の派遣の意義は、地域と病院に安心の輪を広げ、スタッフの勤務環境や地域医療提供体制の改

善に寄与等が考えられた。具体的には、①山本医師の着任前後で比較したところ、救急搬送件数や救急応需率が前年より増加し地域医療に貢献した。②当直医師数は、1人当直の日が減少し、2人当直体制の日の割合が増加し、医師の負担軽減や救急応需率向上に寄与した。③スタッフからの評価は、相談するストレスがなく安心して気軽に相談できると好評(看護部長)、患者さんへの説明力やコミュニケーション能力が非常に高い(地域医療連携室長)、地域の多職種連携の会議にも積極的に参加し、地域を理解しようとする姿勢に感動(居宅介護支援事業所管理者)等があった。

さらに、地域枠医師の育成は、県と大学と地域の深い連携・協力の成果が結集したものであり、医師の育成に関して私たち地域の医療機関にも重要な役割と責任があることを山本医師から学ぶことができた。

今後の課題としては、受け入れた病院の立場からは、後任の地域枠卒業医師に選ばれるかどうか最も気がかりな点である。義務年限後にどれだけ地域枠卒業医師が地域に残ってくれるかも将来の課題であろう。女性医師が育児休暇を取った場合の応援体制の仕組み作りも今後の課題と考えられた。

け、岡山県地域枠制度が岡山大学医学部に創設された。2017年4月、待ちに待った地域枠卒業医師第1期生の山本高史医師が当院に赴任した。地域枠制度創設当初から地域医療実習や地域医療研修に係わってきた医療機関として感無量であった。山本医師は、人間性・知識・能力・コミュニケーション力等のバランスが素晴

